

兵庫県産ゾウムシに関する文献目録(1)・

高橋 寿郎

I. はじめに

兵庫県産ゾウムシ類についての文献類をここにまとめてみる。何分にも貧弱な所有文献からのものであるから、多くの重要な文献類の見落としや脱落があるものと思われる。それ等について御教示頂くことができれば幸いである。ここに収録した文献については、多くの方々から得たものがある。いちいち御芳名は記さないが、厚く御礼申しあげさせて頂く。かなり長くなるので分割発表させて頂く。

II. 凡 例

1. 兵庫県のゾウムシ類について記述のある印刷物は、内容、体裁にかかわらず同一に扱った。
2. 記述は著者名(発表年)、表題、誌名、巻(号) : 頁の順におこなった。単行本は書名を「」でくくり、発行所を()に併記した。
3. 配列は発表年月日順とした。この目録はそのまま兵庫県のゾウムシ類研究史となる。
4. すべての文献に種名を中心とした抄録を付し、今後の基礎資料となるようにした(学名の必要あるものには学名も入れた)。
5. ここにとりあげたゾウムシ類とは、ヒゲナガゾウムシ科、オトシブミ科、チョッキリゾウムシ科、ミツギリゾウムシ科、ホソクチゾウムシ科、ゾウムシ科、オサゾウムシ科の7科に所属する甲虫類であることを承知頂きたい。
6. 学名、和名は原則として日本産昆虫総目録、1989に依拠した。
7. 直接見ることの出来なかった文献には*印を付してある。
8. 収録文献は、1996年末迄出版のものとした。

III. 文献目録

1. WOLLASTON, T. V. (1873) On the Cossonidae of Japan.

Trans. ent. Soc. London, Part. I : 5-43.

兵庫県の甲虫相の研究は、G. Lewis の5年間の日本滞在中の採集品の結果を、ヨーロッパの各専門家が発表されはじめたと同時にはじまる。G. Lewis は兵庫にて多くの甲虫を採集しているので、この一連の研究は大変多い。そのうち、1873年に発表された数篇の研究論文が兵庫県産甲虫類の初めての研究と考えられる。

本論文は、G. Lewis の採集による日本産キクイゾウムシ類の研究論文である。独立の科として扱っているが、現在ゾウムシ科の亜科として取り扱われている(中にオサゾウムシ科のものも含まれている)。

この論文で12新属、18新種の記載があり、兵庫県産として次の7新種の記載がある。兵庫県産ゾウムシについて一番はじめての文献になる。

- p. 11. *Tetratennus sculpturatus* WOLLASTON = *Dryophthorus*. キクイサビゾウムシ(オサゾウムシ科), Hiogo.
- p. 21. *Coprodema calandraeformis* WOLLASTON アトキリキクイゾウムシ, Hiogo. 兵庫の運河近くの落葉樹より得たとある。
- p. 23. *Exodema sublutosa* WOLLASTON, Hiogo. 前記種によく似た種のようなものである。上記2種はその後の記録がない。
- p. 26. *Phloeophagosoma curviroste* WOLLASTON = *Phloeophagosoma (Amorphorhynchus)* ワシバナヒメキクイゾウムシ, Hiogo.
- p. 34. *Macrorhyncholus crassiusculus* WOLLASTON マツオオキクイゾウムシ, Hiogo.

* 兵庫県甲虫相資料・333

- p. 38. *Hexarthrum brevicorne* WOLLASTON ムツヒゲ
キクイゾウムシ, Hiogo.
- p. 42. *Stenoscelis gracilitarsis* WOLLASTON マツクチ
フトキクイゾウムシ, Hiogo.
2. ROELOFS, W. (1873) *Curculionidus recueil-*
lus au Japon par M. G. Lewis.
Ann. Soc. Ent. Belg., XVI: 154-192, pl. II,
III.
G. Lewis の採集した日本産ゾウムシ科の分類学
的研究論文であり, 27属54種の記録である。その
中で12新属, 45新種の記載がある。
兵庫県産は次の4新種が記載されている。
- p. 159. *Scepticus insularis* ROELOFS クワヒヨウタ
ンゾウムシ Hiogo.
- p. 178-179. *Molytus lewisi* ROELOFS = *Kliparus le-*
wisii (ROELOFS, 1873) ヒサゴアナアキノウム
シ Hiogo.
- p. 183. *Larinus latissimus* ROELOFS ゴボウゾウム
シ Hiogo.
- p. 186-187. *Lepyryus japonicus* ROELOFS フタキボ
シゾウムシ Hiogo.
3. ROELOFS, W. (1874) *Curculionides recueil-*
lius au Japon par M. G. Lewis.
Ann. Soc. Ent. Belg., XVII: 121-176.
G. Lewis 採集になる日本産オトシブミ, ホソク
チゾウムシ, ゾウムシ科18属67種を記録されてい
る。そのうちで4新属, 62新種の記載がある。現
在の分類では学名を変えなくてはならないものが
多くある。兵庫県産は次のごとく全部新種記載で
あり, 属名は現在全部変わっている。
- p. 131. *Apoderus longicornis* = *Paracynotrachelus*
ヒゲナガオトシブミ Hiogo.
- p. 134-135. *Apoderus nitens* = *Cynotrachelus roelofsi*
(HAROLD, 1877) エゴヅルクビオトシブミ
Hiogo.
- p. 139. *Attelabus (Euscelus ?) splendens* = *Euops*
(*Synaptopus*) *splendida* VOSS カシルリオトシブ
ミ Hiogo.
- p. 140. *Attelabus politus* = *Euops (Snaptopus)* ケ
シルリオトシブミ Kobe.
- p. 142-143. *Rhynchites ursulus* = *Mecorhis (Cyllo-*
rhynchites) ハイイロチヨツキリ Yokohama et
Hiogo.
- p. 147-148. *Rhynchites singularis* = *Involvulus*
(*Cartorhynchites*) マダラケブカチヨツキリ
Hiogo.
4. ROELOFS, W. (1875) *Curculionides recueil-*
lis au Japon par M. G. Lewis.
Ann. Soc. Ent. Belg., XVIII: 149-188, pl. I
-III. Supplément: 189-193.
G. Lewis 採集の日本産ゾウムシ科34属53種につ
いて分類学的研究論文であり, その中で10新属,
42新種の記載がある。現在の知見ではかなり学名
が変わる。
兵庫県産3新種の記載がある。
- p. 151. *Alcides flavosignatus* = *Mecyslobus* キスジア
シナガゾウムシ Kobe.
- p. 154-155. *Acicnemis suturatus* ナカスジカレキ
ゾウムシ Kobe.
- p. 170-171. *Coelosternus (?) eretus* = *Cryptorrhyn-*
chus electus (ROELOFS, 1875) マダラクチカクシ
ゾウムシ Kobe.
5. E. V. HAROLD (1876) Bericht über eine Sen-
dung Coleopteren aus Hiogo.
Abhandl. Nat. Ver. Bremen V: 115-135.
T. LENZ の採集品に基づいて HAROLD が1875年
に発表した論文の第2報である。全部で49種記録
され, うち1新属3新種の記載がある。産は表題
のごとく Hiogo(神戸) である。ゾウムシは3種
記録されている(新種記載ではない)。
- p. 133. 40. *Cleonus acutipennis* ROELOFS = *Lixus*
ハスジカツオゾウムシ

41. *Ectatorrhinus Adamsi* PASC. マダラアシノウムシ

42. *Alcides trifoldus* PASC. = *Mesalcidodes trifoldus* (PASCOS, 1870) オジロアシナガゾウムシ

6. HEYDEN, L. (1879) Die Coleopterologische Ausbeute des Prof. Dr. Rein in Japan 1874-1875.

Dout. Ent. Zeit., XXIII, Heft. II : 321-365.

本篇は Prof. Dr. REIN JOHAN, J. の日本での採集品のうち甲虫類のみを同定した報文である。

Dr. REIN は明治 8, 9 年の 2 年間東京ドイツ大使館の顧問として日本に滞在, その間漆器や陶磁器, 製紙等について調査する一方, 前後 6 回にわたり日本の本州, 四国, 九州を丹念に歩いて昆虫各目の採集をした。6 回の採集で 235 日を費やしていると。そのうち 2 回神戸での採集があるが, いずれも時期が良く, 6, 7, 8 月の昆虫最盛期を神戸で採集されたので, この報文に報ぜられた日本産甲虫類 152 種のうち兵庫(神戸)からの記録は 66 種で一番多く記録されている(尤も LEWIS などの記録もふくんでいる)。ゾウムシは 3 種が Hiogo から記録されている。

p. 356. 112. *Alcides trifoldus* PASCOS = *Mesalcidodes*, オジロアシナガゾウムシ Ein Ex. von Hiogo.

113. *Ectatorrhinus Adamsi* PASCOS マダラアシノウムシ 3 Expl. von Dr. REIN bei Hiogo = *Ectatorrhinus adamsii* PASCOS

115. *Sipalus gigas* FABRICIUS オオゾウムシ

7. SCHONFELDT, H. V. (1887) Catalog der Coleoptern von Japan mit Angabe der bezüglichen Beschreibungen und der sicher bekannten Fundorte.

Jahrb. d. nass. Ver. f. Naturkunde 40 : 31-204.

1887 年迄に日本から記録された甲虫類のリストで, 原記載名も一緒に示してある。この目録での

新種記載というのではない。記録された種が現在の知見では学名の変わらなくてはいけないもの, 整理してシノニムで消えるもの等もある。

Hiogo, Kobe の産地の書かれているものは 466 種ある。ゾウムシ関係で Hiogo, Kobe の産地を示されている種は 31 種ある。そのうち学名の変わるものだけ次に示しておく。

p. 142. シロコブゾウムシ *Episomus turritus* SCHÖNH. = *Episomus turritus* (GYLLENHAL, 1883).

p. 144. ハスジカツオゾウムシ *Cleonus* = *Lixus*.

p. 146. *Attelabus longicornis* ROEL. = *Paratrachelophorus* ヒゲナガオトシブミ。

Attelabus nitens ROEL. = ヒメクロオトシブミ

Apodera erythrogaster VOLLENHOVEN, 1865.

Attelabus tigrinus ROEL. = ゴマダラオトシブミ

Paraplapoderus pardalis (VOLLENHOVEN, 1865).

Cyphus politus ROEL. = ケシルリオトシブミ *Euops* (*Synaptops*) *polita* (ROELOFS, 1874).

p. 147. *Cyphus splendens* ROEL. = カシルリオトシブミ *Euops* (*Synaptops*) *splendida* VOSS, 1927.

Rhynchites singularis ROEL. = マダラケブカチヨッキリ *Involvulus* (*Cartorhynchites*) *singularis* (ROELOFS, 1874).

Rhynchites ursulus ROEL. = ハイイロチヨッキリ *Mechoris* (*Cyllorhynchites*).

Byctiscus lacunipennis JEREL = ブドウハマキチヨッキリ *Byctiscus* (*Aspidobyctiscus*).

p. 149. *Alcides flavosignatus* ROEL. = キスジアシナガゾウムシ *Mecyslobus*.

Alcides trifoldus PASC. = オジロアシナガゾウムシ *Mesalcidodes*.

p. 151. *Coelosternus electus* ROEL. = マダラクチカクシノウムシ *Cryptorrhynchus*.

p. 152. *Calandra oryzae* L. = ココクゾウムシ *Sitophilus*.

p. 153. *Sipalus gigas* FABR. = オオゾウムシ *Sipalinus*.

8. SCHONFELDT, H. V. (1888) Catalog der Coleop-

teren von Japan Erster Nachtrag

Jahrb. d. nass. Ver. f. Naturhunde 41:44-49.

1887年の日本産甲虫目録には2,702種を収録されたが、今回はじめての追補として53種を記録、日本産甲虫類は2,754種になったとしている。

Hiogo, Kobe 等兵庫からの記録は11種あるがゾウムシとしては1種のみ *Lixus amurensis* FAUST det. Ex. Coll. V. SCHONF. Hiogo というのがある。カツオゾウムシ属の種だと思っただがよくわからなかった。

9. SHARP, D. (1889) The Rhynchophorus Coleoptera of Japan Part. I. Attelabidae and Rhynchidae.

Trans. ent. Soc. London, Part. I:41-74.

日本産オトシブミ、チョッキリ科39種の分類学的研究論文で、1新属、12新種の記載がある。兵庫県産は1新種の記載がある。

p. 70. *Eugnamptus flavipes* SHARP = *Eugnamptus* (*Eugnamptobius*) キアシホソチョッキリ Kobe and Fukushima in July 1881, two specimens.

10. SHARP, D. (1891) The Rhynchophorous Coleoptera of Japan Part. II. Apionidae and Anthribid.

Trans. ent. Soc. London, Part. I:293-328.

日本産ホソクチゾウムシ、ヒゲナガゾウムシ科64種についての分類学的研究論文で、その中で7新属、50新種の記載がある。

兵庫(神戸)産として次の3新種が記載されている。

p. 304-305. *Tropideres germanus* SHARP = *Tropideres naevulus* FAUST, 1887 キマダラヒゲナガゾウムシ the types were found at the Moon Temple, Kobé.

p. 319. *Anthribus daimio* SHARP = *Platystomus sellatus* ROELOFS シロヒゲナガゾウムシ Kobe

in July.

p. 323. *Araecerus tarsalis* SHARP = *Aracerus* アカアシヒゲナガゾウムシ at Kobé in August, 1871.

11. SCHÖNFELDT, H. V. (1891) Catalog der Coleopteren von Japan Zweiter Nachtrag

Jahrb. d. nass. Ver. f. Nat. 44:239-274.

日本産甲虫目録第2追補である。前回迄に日本産甲虫として2,754種記録したが、今回512種を追加、7種を整理して日本産甲虫として3,259種を記録したことになる。

Hiogo, Kobe 等兵庫県産のものは、本報文で31種記録された。勿論現在の知見では学名の変わるものも多くある。ゾウムシ関係は5種記録されている。

p. 266. *Rhamphus flavicornis* CLAIRVILL ? = リンゴノミゾウムシ *Rhamphus pulicarius* (HERBST, 1795)

p. 267. *Tropiders germanus* SHARP = キマダラヒゲナガゾウムシ *T. naevulus* FAUST, 1887.

p. 268. *Anthribus daimio* SHARP = シロヒゲナガゾウムシ *Platystomus sellatus* (ROELOFS, 1879). *Araecerus tarsalis* SHARP = アカアシヒゲナガゾウムシ *Araecerus*.

12. SHARP, D. (1896) The Rhynchophorus Coleoptera of Japan. Part. IV. Otiorhynchidae and Sisonidae, and a genus of doubtful species from the Kurile Islands.

Trans. ent. Soc. London, Part. I:81-115.

日本産64種のゾウムシ類をふくんだ論文である。この中で7新属20新種の記載がある。兵庫県から一種のみ記録されている。

p. 85. *Copanopachys griseus* ROELOFS は ROELOFS が1873年に発表された *Piazomias griseus* と命名された種であるが、現在では *Scepticus griseus* (ROELOFS) サビヒヨウタンゾウムシとされている。

る。Kobe.

13. 大上宇一(1901) 播磨産象虫科略報

動物学雑誌 13(155):289-292.

冒頭に“今是を報知せんとするも参考書なきため一々学名を記入すること能はざるは遺憾なり。和名も松村氏の昆虫書に探りたる外深く他書を見ず。昆虫学(松村氏)異説多く其分別に苦しむ者少なからず。和名も学名も知られざる者は止むを得ず傍若無人的和名を下せり。他書に正確の和名もあれば御教示あらんことを”とのべている。標本も現存してなくて、この報文のみで現在でのどの種を意味するのかわからないものがほとんどである。学名のある種のみ検討してみる。初めにマメゾウムシ科が2種出ているが、これらは和名からしてアズキマメゾウムシ、エンドウゾウムシと考えられる。

オトシブミ科は3種、オトシブミ、ヒメクロオトシブミ、ムツモンオトシブミ。

チョッキリゾウムシ科1種。カシルリチョッキリゾウムシ科6種。リンゴコフキノウムシ、クワヒメゾウムシ、イネゾウムシ、コボウゾウムシ、オオコボウゾウムシ、シロコブゾウムシ。

オサゾウムシ科2種。オオゾウムシ、コクゾウムシ。

14. 大上宇一(1902) 播磨産甲虫類報知(2)。

動物学雑誌 14(169):409-414.

上記表題のもとに p. 410, 269-p. 413, 287 まで18種(うちマメゾウムシ科2種をふくむ)のオトシブミ科3種、ゾウムシ科13種がふくまれている。今回のものは学名が一切使用されていなく、和名のみ説明にてこの報文にて的確に現在の種名を示すことは無理がある。

15. 大上宇一(1907) 播磨産甲虫類(承前)

昆虫世界 11(118):243-245.

今回の一連の報告は、Lewis の日本甲虫目録、

松村松年博士日本千虫図解及び日本昆虫学、動物学雑誌、昆虫世界等を参考にしたとあり、一応 Lewis の甲虫目録の番号をつけ学名が入っている(ゾウムシ類ではこの番号が入っていない)、現在のどの種にあたるのかといったことはある程度わかる(順が入れ替わるが)。記録されている種を次に示す。

一番最後のところで偽象鼻虫科 *Anthribidae* となっているが、これはヒゲナガゾウムシ科のことであり、245. ゾウムシモドキ *Litocerus rufescens* Roe. と記録されているものはアカミヒゲナガゾウムシ *Litocerus securus* (Boheman, 1939) のことである。

チョッキリゾウムシ科は1種記録されている。

234. チョッキリムシ *Rnychites heros* Roel. = *Rhynchites (Epirhynchites) heros* Roelofs, 1874
モモチョッキリ。

オトシブミ科は7種記録されている。

227. ヒメオトシブミ *Apoderus rufiventris* 和名からヒメクロオトシブミ *Apoderus (Compsapoderus) erythrogaster* Snellen van Vollenhoven, 1865 と考える。

228. オトシブミ *Apoderus jekeli* Roel. = オトシブミ *Apoderus (Apoderus) jekelii* Roelofs, 1874.

229. ツルクビオトシブミ *Apoderus rufescens* Roe. = ウスアカオトシブミ *Apoderus (Leptapoderus) rubidus* Motschulsky, 1860.

230. ハマキオトシブミ *Apoderus rufiventris* Roe. = ヒメクロオトシブミ *Apoderus (Compsapoderus) erythrogaster* Vollenhoven, 1865.

231. クロホシオトシブミ *Apoderus tuberculatus* Harold = ゴマダラオトシブミ *Paraplapoderus (Agomadaranus) vanvolxemi* (Roelofs, 1865).

232. クロヒメオトシブミ *Apoderus nitens* Roe. = ヒメクロオトシブミ *Apoderus (Compsapoderus) erythrogaster* Vollenhoven, 1865.

233. キヒメオトシブミ *Apoderus tigrinus* Roe. = ゴマダラオトシブミ *Paraplapoderus (Agomada-*

- mus) pardalis* (SNELLEN VAN VOLLENHOVEN, 1865).
 ゾウムシ科は12種記録されている。
223. マツザウムシ *Curculio abietis* L. この種はわからない。
224. コフキノウムシ。
225. リンゴゾウムシ *Phyllobius argentatus* L. = リンゴコフキノウムシ *Phyllobius (Odontophyllobius) armatus* ROELOFS, 1879.
226. カシハゾウムシ *Phyllobius japonicus* FAUST. = ヒメヒゲボソゾウムシ *Phyllobius (Phyllobius) japonicus* FAUST, 1889.
235. シギムシ *Balanus dentipea* ROEL. = コナラシギゾウムシ *Curculio dentipes* (ROELOFS, 1873).
236. シギムシ1種 (B. sp ?) = シギゾウムシの1種 *Curculio* sp.
239. イネゾウムシ *Echinocnemus bipunctatus* ROEL. = *Echinocnemus squameus* (BILLBERG, 1820).
240. ムシグサザウムシ (*Gymnetron* sp. ?) 種名わからない。
241. ゴボウザウムシ *Larinus griseopilosus* ROEL. = ゴボウゾウムシ *Larinus latissimus* ROELOFS, 1873.
242. アイノグロザウムシ *Centorhynchus asper* ROEL. = タデサルゾウムシ *Homorosoma asper* (ROELOFS, 1875).
243. アイノザウムシ *Lixus impressiventris* ROEL. = カツオゾウムシ *Lixus impressiventris* ROELOFS, 1873.
244. アラゾウムシ *Chlorophanus grandis* ROEL. ? = オオアオゾウムシ *Chlorophanus grandis* ROELOFS, 1873.
 オサゾウムシ科3種。
222. オホゾウムシ *Sibalus gigas* FAB. = オオゾウムシ *Sipalinus gigas* (FABRICIUS, 1775).
237. コクゾウムシ *Calandra oryzae* L. = ココクゾウムシ *Sitophilus oryzae* (LINNAEUS, 1796).
238. ナガコクザウ *Calandra elongata* ROE. = コササコクゾウムシ *Diocalandra elongata* (ROELOFS, 1875).
16. VOSS, E. (1926) Die Unter-familien Attelabine und Apoderinae Stett. Ent. Ztg., 87:1-96.
 次の兵庫県産1新種の記載あり。
 p. 72-74. *Phymatopoderus pavens* VOSS ヒメコブオトシブミ, Harima.
17. KONO, H. (1930) Langrüssler aus dem Japanischen Reich. Ins. Mats., 4(4):145-162.
 日本産ゾウムシ科の研究であるが, 次の兵庫県産の記録あり。
 p. 155. *Dorytomus roelofsi* FAUST アカイネゾウモドキ Takasago, 1. VII. Dr. MATSUMURA leg.
18. KONO, H. (1930) Langrüssler aus dem Japanischen Reich (Schluss) Ins. Mats., 5(1/2):1-31.
 兵庫県産次の記録あり。
 p. 14. *Balaninus funebris* ROELOFS = *Curculio* イヌビワシギゾウムシ Takasago, 1♂, Dr. MATSUMURA leg.
19. KONO, H. (1930) Kurzüssel aus dem japanischen Reich. Jaur. Facul. Agr. Hokkaido Imp. Univ. 24 (5):153-237, 2pls.
 日本産ゾウムシ科の研究である。兵庫県から次の記録種がふくまれる。
 p. 167. *Pseudocneorrhinus bifasciatus* ROELOFS スグリゾウムシ Takasago lex., X. 1909, Dr. MATSUMURA leg.
 p. 186. *Scepticus griseus* ROELOFS サビヒヨウタンゾウ Akashi lex., 11. VI. 1916, Dr. S. MATSUMURA leg.

- p. 188-189. *Sympiezomias lewisi* ROELOFS ワモンヒヨウタンゾウムシ Takasago, 9exs., IV. Dr. MATSUMURA leg.
- p. 199-200. *Episomus turritus* GYLLENHAL シロコブゾウムシ Takasago, 1ex., 24. VII. 1907, Dr. S. MATSUMURA leg.
20. 関 公一(1934) 御影町附近産の甲蟲目録 (其の四)
昆虫界 2(7):43.
この関によるシリーズではゾウムシ科は全くふくまれていない。本報にヒゲナガゾウムシ科の次の2種の記録がある。
キノコヒゲナガゾウムシ *Caccorhinus oculus* SHARP = *Euparius*.
シロヒゲナガゾウムシ *Anthrribus daimio* LEWIS = *Platystenus sellatus* (ROELOFS, 1879).
21. 足立輝一(1934) 生徒採集昆虫調査報告 少年昆虫界 1(2):30-33.
(昆虫界Vol. 2, No. 8に含まれている)
神戸一中の夏季宿題の採集品を調べた結果をまとめたものである。注目すべき種についての解説はついているが、データ等は全くない。
産地も恐らく神戸市中心だろうと思うが、詳しくはわからない。ゾウムシ科はどうしたわけか貧弱であり4種とあり、オオゾウムシが多くとれていたとある。
22. 神戸支部(1934) 布引・摩耶昆虫採集目録 兵庫県博物学会会誌 (7):62-68.
故中林 源次氏採集指導による布引・摩耶山に兵庫県博物学会神戸支部の採集会(2. VII. 1933)を実施したときの記録。甲虫は20種記録される。ゾウムシとしては次の記録がある。
20. *Euops punctato-striata* MOTSCHULSKY ルリオトシブミ = *Euops* (*Synaptops*).
21. *Phymatopoderus Pavens* VOSS. ヒメコブヲトシブミ = ヒメコブオトシブミ *P. pavens* Voss, 1927.
22. *Episomus turritus* GYLLENHAL シロコブゾウムシ
23. *Alcides trifidus* PASCOE ラジロアシナガゾウムシ = *Mesalcidodes trifidus* (PASCOE) オジロアシナガゾウムシ.
24. *A. niponicus* KONO? シロオビアシナガムシ = シロオビアカアシナガゾウムシ *Mecysolobus nipponicus* (KONO, 1930).
23. 戸澤信義(1936) 紫水遺稿 別巻 芝川家所蔵昆虫標本目録 A5. 333p.
芝川又之助氏のコレクション目録で、鈴木元次郎、福貫正三、玉沢脩三郎氏に戸沢信義氏がまとめられたもので、全体からすれば2,380種が収録されていることになる。産地の記入されていない種もある。兵庫県産としての記録があるのは56種であり、ゾウムシ類は僅かに3種しか記録されていない(1種はチョッキリゾウムシ科、学名の変わるものもある)。
- p. 47. 378. マダラアシノウ 御影 2exs., 11. VII. 1915.
- p. 49. 490. マツシラホシノウ 須磨 1ex., 2exs., 11. VII. 1915.
24. 植村利夫(1938) 淡路島及び鳴門公園の昆虫 昆虫界 6(48):159-163.
淡路島(洲本市先山)産の甲虫が6種記録されており、うち1種がゾウムシである。即ち、ラジロゾウムシ = オジロアシナガゾウムシ(属名が違っている)。
25. 神戸博物同好会(1939) 神戸附近の昆虫・六月 博物趣味 1(2):3.
ヒメクロオトシブミ(バラの葉に居る)の記録あり。

26. 神戸博物同好会(1939) 布引-摩耶ハイキングコースと昆虫採集

博物趣味 1(2):4-5.

市ヶ原(神戸市)にてアトジロザウムシ(オジロアシナガゾウムシ), シロコブゾウムシがいるとの記録あり.

27. 神戸博物同好会(1939) 布引-摩耶ハイキングコースと昆虫採集(其二)

博物趣味 1(3):4-6.

摩耶山山腹より青谷へヒメクロオトシブミの記録あり.

28. 宇野正芳(1939) ゴマダラオトシブミとオトシブミに就いて(1)

昆虫界 7(68):575-579.

兵庫県下での採集記録が出ている.

p. 578. *Apoderus jekeli* ROELOFS オトシブミの新変種 var. *hiratai* UNO が和田山産標本(1♀, 12. VI. 1939, UNO leg.)で記載されている. 他に var. *sapporensis* KONO, 兵庫県和田山 3♂, 9♀, 25. VI, 28. VI, UNO leg. の記録もある.

29. 田中靖也(1939) 昆虫採集, 宝庫之鍵

Nature (神戸二中博物同好会会誌) (9):1-27.

神戸鳥原貯水池畔にオーゾー = オオゾウムシ, シロコブゾウムシ = シロコブゾウムシ, カツオゾウムシ = カツオゾウムシ, ゴボゾウムシ = ゴボウゾウムシ, ヒメゴボゾウムシ = ゴボウゾウムシが多くいるとある.

30. 高橋寿郎(1940) 神戸再度山附近産の甲虫目録(4)

昆虫世界 44(513):144.

次のようにゾウムシ類を記録.

シロコブゾウムシ, オホアヲゾウムシ = オオアオゾウムシ, ヒメシロコブゾウムシ *Dermatoxenus nodosus* MOTSCHULSKY = *D. caesicollis* (GYLLE-

NHAL)., マダラアシゾウムシ, オホゾウムシ *Sipalus hypocrita* Boheman = オオゾウムシ *S. gigas* (FABRICIUS)., ラジロアシナガゾウムシ *Alcides trifidus* Pascoe = オジロアシナガゾウムシ *Mesalcidodes*., オホジロアシナガゾウムシ = ホホジロアシナガゾウムシ, コフキノウムシ, オトシブミ, ゴマダラオトシブミ, アシナガオトシブミ, ヒメコブオトシブミ, ハスヂカツラザウムシ = ハスジカツオゾウムシ.

31. 増田 猛・橋本直也, 1941. 「一中附近の昆虫」 A5. 39p. (孔版・単行本)

神戸一中(現神戸高校)付近産の蝶と甲虫の目録である. データは無い. 同定の誤りもあるようだし, 現在の知見から相当数の学名の変更などもある. ゾウムシ類は32種記録されている. 和名で示す(学名の必要あるものについて入れておいた).

1. フサスグリザウムシ *Pseudocneorrhinus bifasciatus* ROELOFS = スグリゾウムシ.
2. クハヘウタンザウムシ *Sceptieus insularis* ROELOFS = クワヒヨウタンゾウムシ.
3. ハスヂカツラザウムシ = ハスジカツオゾウムシ.
4. カツラゾウムシ = カツオゾウムシ.
5. シロコブザウムシ.
6. ミヤマヒゲボソゾウムシ.
7. アナアキオオボソゾウムシ *Hylobius perforatus* ROELOFS = *Dyscerus* 学名からすればオリーブアナアキノウムシになる. 或いはガロアアナアキノウムシかもしれない.
8. オホザウムシ *Sipalus hypocrita* Boheman = オオゾウムシ *Sipalinus gigas* (FABRICIUS).
9. マダラアシザウムシ = マダラアシゾウムシ.
10. マツオホザウムシ = マツアナアキノウムシ.
11. コクザウムシ = ココクゾウムシ(学名からして).
12. ラジロアシナガゾウムシ *Alcides trifidus* Pascoe = *Mesalcidodes* オジロアシナガゾウムシ

13. マツキボシザウ = マツキボシゾウムシ。
 14. ホゞジロアシナガザウムシ = ホホジロアシナガゾウムシ。
 15. エゴシギザウムシ = エゴシギゾウムシ。
 16. クリシギザウムシ *Balaninus styracis* Roelofs = クリシギゾウムシ *Curculio sikkimensis* (HELLER).
 17. ツバキノシギザウムシ *Balaninus camelliae* Roelofs = ツバキシギゾウムシ *Curculio*.
 18. サルザウムシ *Ceutorrhynchus asper* Roelofs = タデサルゾウムシ *Homorosoma*.
 19. コフキザウムシ = コフキノウムシ。
 20. カシハクチプトザウムシ = カシワクチプトゾウムシ。
 21. ヨツボシヲサザウムシ *Sphenophorus carinicornis* Gyllenhal 稀な種なれども白い花に見られる。学名、和名からして *Sphenocorynes ocellatus* PASCOE, 1887 ヨツメオサゾウムシになるかと思われるが、本種奄美以南産で本州に分布していないと考えられる。
 22. チャイロチョッキリザウムシ = チャイロチョッキリ。
 23. クチナガチョッキリザウムシ = クチナガチョッキリ。
 24. モゞチョッキリザウムシ = モモチョッキリ。
 25. ブタウハマキチョッキリ = ブドウハマキチョッキリ。
 26. ハイイロケナガチョッキリ *Phynchites* sp. = ハイイロチョッキリ *Mechoris ursulus* (ROELOFS).
 27. ヒメクロオトシブミ。
 28. オトシブミ。
 29. アシナガオトシブミ。
 30. ゴマダラオトシブミ。
 31. アカクピナガオトシブミ。
 32. カシルリオトシブミ。
 32. 高橋寿郎(1943) 神有沿線甲虫相(六) 昆虫世界 47(548):10-11.

ヒゲナガゾウムシ科1種、ゾウムシ科(オトシブミ科も含む)19種記録している。ただし採集データはついていない。

Anthribidae

1. シロヒゲナガザウムシ *Anthribus daimio* Sharp = シロヒゲナガゾウムシ *Platystomos sellatus* (ROELOFS, 1879).

Curculionidae

1. シロコブザウムシ = シロコブゾウムシ
種名 *twortus* → *turritus*
 2. オホアラザウムシ = オオアオゾウムシ
 3. ヒメシロコブザウムシ *Dermatoxemus nodosus* Motschulsky = ヒメシロコブゾウムシ *D. caesicollis* (GYLLENHAL).
 4. マダラアシザウムシ = マダラアシゾウムシ。
 5. オホザウムシ *Sipalus hypocrita* Boheman = オオゾウムシ *S. gigas* (FABRICIUS).
 6. ラジロアシナガザウムシ *Alcides trifidus* Pascoe = オジロアシナガゾウムシ *Mesalcidodes trifidus* PASCOE.
 7. コフキザウムシ = コフキノウムシ。
 8. オホジロアシナガザウムシ *Alcides erro* = ホホジロアシナガゾウムシ *Mecysolobus erro*.
 9. オトシブミ。
 10. ゴマダラオトシブミ。
 11. アシナガオトシブミ。
 12. ヒメコブオトシブミ 種名 *pavenus* = *pavens*.
 13. ハスヂカツラザウムシ = ハスヂカツオゾウムシ。
 14. ヨツボシザウ *Sphenophorus carinicornis* Gyllenhal 学名からしてヨツメオサゾウムシになり本州には分布していない。
 15. マットビザウムシ = マットビゾウムシ。
 16. オホコバウザウムシ *Larimus griseopilosus* = シラクモゴボウゾウムシ *Laninus*.
 17. シロホシヒメザウムシ = シラホシヒメゾウムシ。
 18. エゴシギザウムシ *Balaninus styracis* Roelofs

= エゴシギゾウムシ *Curculio*.

19. マツノシラホシザウ *Cryptorrhynchus insidiosus* Roelofs = マツノシラホシゾウムシ *Shirahoshizo*.

33. 橋口繁一・橋本一廣・山田重次(1950) 「有馬郡生物誌(鞘翅目, pp. 117-124)」

(兵庫県立有馬高等学校普通科生物教室刊)

詳しいデータが無く単なる目録のみであり、注目すべき種名も出ているが、同定について問題もありそうである。ゾウムシ類は14種記録されている。

- p. 122. ヒメクロオトシブミ *Apoderus nitens* Roelofs = *Apoderus erythrogaster* Vollenhoven. ウスアカオトシブミ, オトシブミ, ゴマダラオトシブミ, ブドウハマキチョッキリ, モモチョッキリゾウムシ = モモチョッキリ, クリシギゾウムシ *Curculio dentipes* Roelofs = *C. sikki-mensis* (Heller), マツキボシゾウムシ, イチゴハナゾウムシ, コクゾウムシ学名からしてコクゾウムシ, オオゾウムシ *Sipalus hypocrita* Boheman = *Sipalinus gigas* (Fabricius), シロコブゾウムシ, マダラハスジゾウムシ *Adosomus gronulatus* Mannhi = *コマダラハスジゾウムシ A. melogrammus* (Motschulsky), アシナガゾウムシ学名からしてアシナガオトシブミ.

34. 田口勝夫(1952) 昆虫の趨光性(蛍光灯と昆虫)(1) 兵庫生物 2(1):25-26.

神戸市立妙法寺小学校自然教育学習園でおこなった昆虫の夜間採集のうち, 8, 9, 10, 11月の各月を代表する4日間の詳しい採集データが示されている。多数の甲虫類の記録がある中で, ゴボウゾウムシが9月4~5日にかけてP. M. 9. 00 1ex. 12. 30 1ex. A. M. 4. 00 1ex. と3頭が蛍光灯に飛来した記録がある。

35. 山本義丸(1952) 郷土・氷上郡の昆虫相につ

いて *Natura* (7):8-13.

概略的にのべられていて個々の種についての解説はあまりないが, オウシロオビゾウ = オオシロオビゾウムシがこの地域に産することが出ている。

36. 岩田久二雄・奥谷禎一・永富 昭・中根猛彦(1953) 氷の山の昆虫 兵庫生物 2(3):121-125.

甲虫類については中根猛彦博士により9種について解説ならびに96種の目録が出ている。ヒゲナガゾウムシ科1種。ゾウムシ科として7種が記録されているが, チョッキリゾウムシ科2種, オトシブミ科が5種である。

Tropideres germanus Sharp が記録されているが, これはキマダラヒゲナガゾウムシ *T. naevulus* Faust, 1887 になると思われる。チャイロチョッキリ, クチナガチョッキリ *Rhynchites* = *Involvulus*, ヒメクロオトシブミ, セアカオトシブミ, ウスアカオトシブミ, ムツモンオトシブミ, ヒゲナガオトシブミ。

37. 村山醸造(1953) 松類穿孔虫防除に関する研究。文部省科学試験研究報告 No. 6:1-112.

兵庫県養父郡建屋村内の赤松林・実験林内で採集した昆虫目録の中に次のゾウムシの記録あり。

77. ヒメクロオトシブミ *Apoderus nitens* Roelofs = エゴツルクビオトシブミ *Cycnotrachelus roelofsi* (Harold).

78. オオゾウムシ *Sipalus hypocrita* Boheman = *S. gigas* (Fabricius).

79. マツシラホシゾウムシ *Cryptorrhynchidius insidiosus* Roelofs = *Shirahoshizo* マツノシラホシゾウムシ.

80. マツノキボシゾウムシ.

81. アナアキノウムシの1種.

(I. 1997)

(TAKAHASHI TOSHIO 神戸市兵庫区氷室町1-44)